

宝が池エリア ニュースレター

vol. 01
2023.4

宝が池公園を起点に、地域課題の解決へ。新しい対話・連携の場をつくります！

宝が池には強みがある一方で、課題もあります。その課題解決に向けて、地域の皆様をはじめ宝が池に関わる様々な立場の方が集まり、互いを理解し合いながら未来像を共有し、宝が池公園を起点にしてより良い宝が池エリアにしていくために...

「宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）」を創設します！

強み



1. 豊かな自然



2. 広大な園地

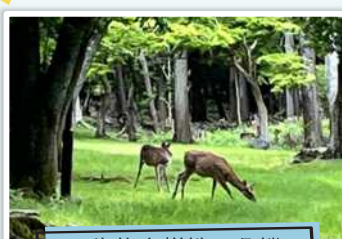


3. 国際交流拠点



4. 歴史・文化

課題



1. 生物多様性の危機



3. 地域資源の活用不足

問い：「広域公園」の役割を果たすために、この公園に足りないと感じることは何ですか？

- ・ 飲食を提供するお店 37.8%
- ・ 遊びの選択肢が増える仕掛け 30.0%
- ・ 池や森など豊かな自然を楽しむ仕掛け 28.9%
- ・ 駐車場 26.6%

2. 施設やサービスの不足



4. 多様な人材との連携機会不足

みんなの知恵を結集し、強みを活かして課題を解決

豊かな暮らしができる、住み続けたいまちへ！

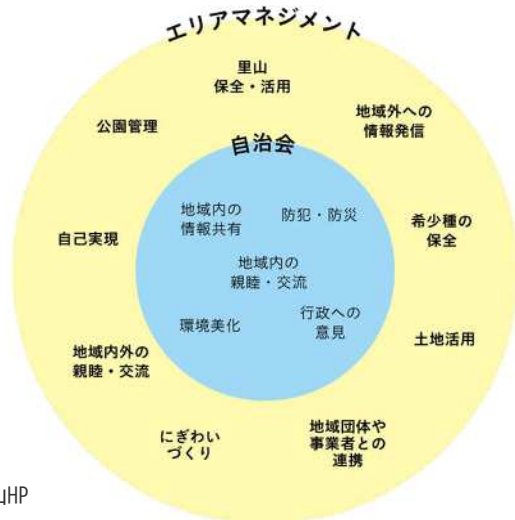
事例紹介：東京都稲城市「エリアマネジメント南山」ではこんな取組が行われています！

地域の緑をともに守り育て、持続可能なコミュニティの醸成と緑と関わりあう街を目指して、地域住民や事業者、NPOなど関係団体が協働。土地活用事業や地域交流・里山再生・環境共生のためのイベント、住民参加による公園づくりと維持管理・運営等を展開



里山での
芋掘り体験

ハロウィンイベント



出典）一般社団法人エリアマネジメント南山HP

宝が池公園を起点にしたまちづくりの可能性

1

宝が池らしい公園にするため 管理運営のあり方を見直す

保全再生の視点と利活用の視点により
唯一無二の地域の「宝」となる場へ



未来の公園の見本市
「…だから、宝が池。」の開催／宝が池公園

2

ゲストからキャストへ

様々な立場の方が関われるきっかけがあり、
自己実現や交流が促進される場に



「モバイル屋台」を活用した交流空間の創出
／竹間公園

3

社会課題の解決

広大な園地を活用し、環境問題や子育て、
健康づくり、福祉などの社会課題の解決の場に



森の保全再生の取組への参画者増／宝が池公園

4

定住人口と交流人口に加えて「関 係人口」をつくる

地域住民だけで地域を支えるのではなく広域公園と
いう強みを活かして多様な主体が継続的に地域に
関わることで様々な知恵や行動を結集



140人以上が参画する公園コミュニティ／宝が池公園

宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）とは

● 目的

宝が池に関わる皆様と一緒に、公園と周辺エリアの将来像を検討し、
実践を通して地域の魅力を引き出し、より豊かなまちづくりにつなげるための会議です。

● 参加者

宝が池公園とその周辺エリアに活動されている方、居住されている方、
会議が招く方など

● 内容

- ① 公園の保全や利活用に関する 意見交換、合意形成
 - ② 公園とその周辺エリアの将来像（未来ビジョン）の検討
 - ③ 運営についての仕組みの協議
- その他、各活動内容の情報共有、必要と思われる事項



宝が池エリア未来共創まちづくり会議(仮称)準備会の開催報告

自治組織の皆様、「宝が池の森」保全再生協議会、金融機関、地域企業、国立京都国際会館、公園管理者など、宝が池に関わるたくさんの方が一堂に会し、宝が池の歴史やこれまでの関わり方、そして未来に対する熱い想いを共有しました。

R5/3/21 (火・祝)
16時～19時
@京都国際会館

地域の人々の思い

宝が池は里山が残る唯一の場所であり、地域の憩いの場であることを大切にしたい

方向性は素晴らしいので、地域の声を反映できる仕組み作りを

宝が池公園の現状

この30年で森のポテンシャルは大幅に低下

生態系の変化により山崩れのリスクも増加

公園管理には多様な人々の連携が不可欠



利活用について

公園を地域活動の場としても使いたい

宝が池エリアの原風景を守り子どもたちに繋げたい

身近な自然を活かして医療・福祉面での連携も期待！

イベントを自然を取り戻す活動につなげることが必要

まずはみんなで基本原則を「憲章」として形作っては

今後の取組について

まずは自分事として公園に関心を持ってもらおう

公園で人が繋がり住みやすいまちをつくろう

これから公園を使う子供たちも含めて、宝が池に関わる人を増やしていこう

必要なのは「制限」ではなく「許す」こと。そのためのアイデアを出し合おう

みんなで思いを分かち合うことから始めよう

様々な意見がありましたが、宝が池エリアを良くしたいという思いは皆さん同じ。誰も意見を否定せず、互いを理解し、方向性を共有できた日となりました。

今後、「宝が池公園」を地域におけるまちづくりの核として、様々な立場の方が知恵を出し合いながら、より魅力的な宝が池エリアとなるための仕組みづくりを行っていきます！





宝が池で何ができるかな？

そうだ、行ってみよう！！



ボウケンノモリ

体験する

事前申込：不要 ※ 荒天時中止

日時 令和5年5月20日（土）、21日（日）、
27日（土）、28日（日）
各日10時～17時（最終受付：16時半）

場所 宝が池公園（野鳥の森）

公園の森林空間を活用し、自然の地形や
立ち木を活かした樹上のアスレチックや
トランポリンの設置など、子どもから大人まで
楽しめるアウトドア体験を期間限定で実施！
収益の一部は公園の運営費に還元されます。

① ミニアスレチック

（ポータブルアスレチック＋樹上のアスレチック）



料金：700円／1周、2周目以降500円／1周
参加制限：5才以上、
ハーネス着用のため身長110cm以上

② トランポリン



料金：300円／5分
参加制限：3才以上

③ フィットネス体験会



内容：高精度筋量計による計測（データプレゼント）
＋専門家による運動・生活指導
＋ミニアスレチックコース1周
料金：1,000円／人
参加制限：12才以上

宝が池連続学習会

学ぶ



詳細・申込は
こちらから



「森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる」を
コンセプトに、フィールドワークと座学で
宝が池について学ぶ全6回の実践的講座！

主催：（公財）京都市都市緑化協会及び
「宝が池の森」保全再生協議会

交流会

「…だから、宝が池。」

繋がる

実施にむけて、鋭意、準備中！！



誰かと繋がりたい、自分の大事にしていることを伝えたい、
公園でこんなことしたい…。そんな思いがある方もない方も
大歓迎！宝が池ゆかりの方の話聞き、宝が池に思いを馳せ
ながら、皆でゆったりと集い、交流しましょう！
実施内容はFacebook（左下）にて、近日公開予定です。

主催：京都市建設局みどり政策推進室

SNS

今後の取組はこちらをチェック！



Facebook



Instagram



YouTube



だから宝が池
デジタルブック

問い合わせ先

発行元：京都市建設局 みどり政策推進室
TEL：075-222-4113 FAX：075-212-8704
mail：ryokusei@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第054100号（令和5年4月発行）